



No.16 平成30年1月25日 出雲崎小学校 保健室

インフルエンザB型 流行中！

とうとう出雲崎小学校でもインフルエンザが流行し始めました。今日から、6年生が学年閉鎖措置をとっています。

現在はインフルエンザB型が流行っているようです。

インフルエンザの主症状は、急な38～40℃の高熱ですが、B型は、熱が上がらないこともあるそうです。

【インフルエンザ主症状】

- 急な高熱（38～40度）
- 頭痛
- 咳や喉の痛み
- 寒気や悪寒（ふるえ）
- 関節痛や筋肉痛 など

【B型の特徴】

- 高熱にならない微熱
- 下痢や腹痛、吐き気、嘔吐などの消化器症状 など

健康観察を、お願いします。

登校前の朝の健康観察をお願いします。少しでも普段と違う様子が見られたら、検温をお願いします。

なお欠席・遅刻の電話連絡は、朝のうちをお願いします。その際は次のことを詳しく教えていただくと助かります。

- ◆今朝の体温 ◆発熱した場合、いつから発熱したのか
- ◆受診したか、または受診する予定はあるか
- ◆頭痛、腹痛、下痢、嘔吐の有無
- ◆咳、のどの痛み、くしゃみ、鼻水、関節痛、筋肉痛の有無
- ◆ご家族の罹患状況



発熱・のど痛・咳・鼻水等の症状がある場合は、登校を控え、早めに医療機関を受診ください。症状が発生して48時間以内に抗インフルエンザ薬を服用すると、発熱期間は短縮され、ウイルス排出量も減少します。

隠れインフルエンザにご注意を！

高熱が出ないときや、症状が軽い場合は、お家で様子を見ていることも多いと思いますが、中には微熱程度で、あまり強い症状が出なくても、検査を試みると実はインフルエンザだった！というような場合もあるそうです。

基本的にインフルエンザに感染し、発症すると、急な高熱（38～40度）・頭痛・咳や喉の痛み・寒気や悪寒（ふるえ）・関節痛や筋肉痛などの症状が表れます。



ただ、人によっては高熱が出にくいこともありますし、ワクチン接種をしていると軽い症状で済むことも考えられます。

だからといって人にうつさないかという話は別です！症状が軽くても、この時期、体の不調を感じたらインフルエンザを疑って、無理をせず、早めの休養を心がけてください。家庭内でも、マスクなどで人にうつさないように、感染を広げないような注意が必要です。

罹患後の登校は、許可証を忘れずに。

インフルエンザは出席停止になります。出席停止の期間は「**解熱後2日が経過するまで**」かつ「**発症後5日が経過していること**」です。

登校する際は、「登校許可証明書」が必要です。用紙は学校に取りに来ていただくか、出雲崎小学校のホームページからダウンロードしてご利用ください。よろしくお願いたします。



インフルエンザの出席停止期間について

発症後5日を経過 + 解熱後2日を経過するまでは、学校はお休みになります。ゆっくり静養してください。

例	発症日 0日目	発症後 1日目	発症後 2日目	発症後 3日目	発症後 4日目	発症後 5日目	発症後 6日目	発症後 7日目
発症後2日目に解熱した場合	発症 / 発熱 	発熱 	解熱 	解熱後 1日目 	解熱後 2日目 	※まだ発症後5日を経過していないため登校できない	登校可能 	
出席停止期間	→							
発症後4日目に解熱した場合	発症 / 発熱 	発熱 	発熱 	発熱 	解熱 	解熱後 1日目 	解熱後 2日目 	登校可能
出席停止期間	→							